

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【公表番号】特表2018-524474(P2018-524474A)

【公表日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2018-033

【出願番号】特願2018-501871(P2018-501871)

【国際特許分類】

C 21 D 9/46 (2006.01)

C 21 D 8/02 (2006.01)

【F I】

C 21 D 9/46 G

C 21 D 8/02 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年9月4日(2019.9.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

実施例7

実施例3、4、および5における二重相980降伏力データは図3でマイクロメーターで計算された拡散距離xの機能として表示される。図3および上記の拡散方程式を使って、加熱処理は促進され、DP980の理想的な降伏力を有する調質物を生成するだろう。例えば、もし800Mpa降伏力を有する調質されたDP980生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏xが約1マイクロメーターであるように選択され得る。他の実施例では、もし950Mpa降伏力を有する調質されたDP980生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏xが100マイクロメーター未満、またはxが10マイクロメーター未満であるように選択され得る。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

実施例8

実施例2における二重相980降伏力データは、図4においてマイクロメーターで計算された拡散距離xの機能として表示される。図4および上記の拡散方程式を使って、加熱処理は促進され、DP780の理想的な降伏力を有する調質物を生成するだろう。例えば、もし600Mpaまたはそれより低い降伏力を有する調質されたDP780生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは降伏xが90マイクロメーター未満であるように選択され得る。他の実施例では、もし720Mpa降伏力を有する調質されたDP780生成物が望ましいなら、時間および温度の組み合わせは110マイクロメーター未満であるように選択され得る。